

9月30日～ 安達太良山 他

和田 千恵

山名	西吾妻山、磐梯山、安達太良山、吾妻小富士	山行名	例会:紅葉の東北百名山
ルート	西吾妻山 → 磐梯山 → 安達太良山 → 吾妻小富士		
山行日	2023年 9月30日、10月1日、2日、3日	天候	曇雨・曇雨・晴・晴
参加者	CL:木田 SL:和田 松嶋、宮内、大西、蒲田 女性3名、男性3名 計6名		



9/30 西吾妻山 コースタイム

地名	発着	時:分	地名	発着	時:分
天元台ロープウェイ駅	着	6:20	山頂	着	13:00
	発	8:45		発	13:10
リフト終点登山口	着	9:50	天狗岩(吾妻神社)	着	13:20
	発	10:08		発	13:30
かもしか展望台	着	10:40	登山口	着	15:10
	発	10:50		発	15:20
梵天岩(昼食)	着	11:30	天元台駅(駐車場)	着	16:00
	発	11:50		発	

10/1 磐梯山 コースタイム

地名	発着	時:分	地名	発着	時:分
裏磐梯スキーロッジ			磐梯山山頂	着	11:55
	発	8:10		発	12:10
銅沼	着	8:55	弘法清水小屋	着	12:35
	発	9:05		発	13:05
分岐	着	9:50	赤埴山	着	14:30
				発	14:50
弘法清水小屋	着	11:10	猪苗代登山口	着	16:20
	発	11:30		発	



10/2 安達太良山 コースタイム

地名	発着	時:分	地名	発着	時:分
登山口(Gondola 駐車場)	着	9:10	薬師岳	着	15:15
	発	9:25		発	15:25
くろがね小屋(昼食)	着	11:30	ゴンドラ山頂駅	着	15:35
	発	12:00		発	15:50
安達太良山山頂	着	13:45	ゴンドラ登山口	着	16:00
	発	13:50		発	

10/3 吾妻小富士 コースタイム

地名	発着	時:分	地名	発着	時:分
登山口	着	9:40		着	
	発	9:55		発	
山頂(休息)	着	10:20		着	
	発	10:45		発	
登山口	着	11:35		着	
	発			発	

9/30【西吾妻山】

登山前日の 21 時に車で出発。早朝登山口の麓のロープウェイ駅に到着したが、雨が降りだした上に、強風で休日出発時間の 8 時を過ぎてもいつ運航するかわからないまま待機した。

8 時 40 分発が放送されて、やっとロープウェイが動き出したものの、強風でストップ！ゆらゆら揺れる車内は、スリル満点？恐ろしい！しかし次の 3 コースのリフトではさらに突風が吹き荒れ、雨交じりで寒さも加わって何回も止まって、何てことか！

たどり着いた登山口から雨が降らないことを願いながら紅葉を探してもまだ早い！岩がごつごつした道を少し行くと、開けたかもしか展望台に着く。眺望は雲で良くないが、雨よりまし、と歩いてたまに見かける赤や黄色の葉っぱや木の実を愛でる。木道や石の敷き詰められた湿地（池塘）を進んで大きな岩をよじ登りながら山頂を目指す、途中で雨にあたり景色にも恵まれず、見えるはずの猪苗代湖を想像もできずにひたすら滑らないように歩き続ける。

下山は、15:40 のリフトに間に合うように急いで降りてセーフ！大雨にたたられてロープウェイ乗り場ではかっぱを脱いでほっとした。

10/1【磐梯山】

朝から小雨の中出発。銅沼では水は干上がって少なかったものの赤い土、緑の沼と美しい。沼の奥には火口壁が見え、噴煙も見える。景色を楽しめたのはここまで。後は霧の中を進む。山頂手前の弘法清水小屋で軽食後、山頂へ。霧の中の山頂では三角点と祠だけが待っていてくれた。再び小屋に下り雨の中昼食。天狗岩を過ぎ、いつの間にか雨も上がり沼の平ではダケカンバなどを楽しみながら赤埴山へ。山頂からは眼下に猪苗代湖が！今日初めての眺望に歓声。最後は、猪苗代湖を見ながら気持ち良くスキー場を直滑降に下山。（なお、この日は、若手 2 名の山行で、他の 4 名は田部井淳子さんがオーナーを務め生涯愛した湯宿「沼尻高原ロッジ」で源泉かけ流しの極上の湯を満喫。）

10/2【安達太良山】

宿舎から車で登山口駐車場へ。安達太良奥岳登山口から、くろがね小屋が建て替えのため工事車両も走行する馬車道を縫う山道を登りはじめたが、昨日までの雨でぬかるみと石で歩きづらい。しかし天気は秋晴れ、エゾオヤマリンドウが咲きほこっている登山日和！昼食はくろがね小屋の工事現場隣の景色の良い場所で、目の前には硫黄が噴き出る周りに白い表面の山肌がそびえ、立ち入り禁止の立て札。あおぞらに籠山・乳首山などの幾つもの山頂を仰ぎながら、石と岩の道を登り、安達太良山手前の沼ノ平の頂上に立ったが、壮大な火口を眼下にその風の強さは初日の突風どころではなく吹き飛ばされそうになってストックを握りしめた。

頂上では、岩を登り、はしごで降りて、磐梯山と連山を仰ぎ福島市の街を眼下に雄大な自然を満喫した。下山は登りのぬかるみと真逆の大分ましな石の道だった。

ほんとうの空は、ここです、と書かれた薬師岳展望台の手前からゴンドラリフトへの木道を歩きながら、智恵子抄を思い浮かべた。

10/3【吾妻小富士】

今日も晴れた！宿舎の窓から見える磐梯山は一段とくっきり輝いている。最終日の今日は遅めに出発した。磐梯吾妻スカイラインを走り、去年より紅葉は 2 週間ほど遅れているようだが、うっすらと色めいている。駐車場から吾妻小富士と向かい合った山の噴火口のぽっかり空いた穴の周りは鮮やかな硫黄の黄色、白い煙を吐き続けている。頂上では噴火口を覗いて歓声を上げ、お鉢巡りでは風が強かったが、岩陰に着くと風も収まって CL 持参のレギュラーコーヒーをいただき堪能！素晴らしい景色とのんびりゆったり山歩きに感謝です。

ヒヤリハット

なし

【感想】

(松嶋)

片道 700km 以上、交代で運転しても休憩入れて 9 時間！夜行バスでも寝られない方なので絶対寝られないと思っていたが、週末で疲れていたのか、そこそ眠れて翌朝の行動には支障なかったので良かったです。自分の中では車では甲信越くらいまでが限界と思っていましたが、今回の経験で行動範囲が広がり、まだまだ行きたい山が一杯あるので、行ける可能性が射程圏内に入ってきた気がします。4 日目の吾妻小富士は観光コースですが、学生時代に観光で来た時は辺り一面ガスで真っ白だったので通過した記憶があります。30 年ぶりに来ることができて、快晴の下、お鉢巡りでできて良かったです。連日、登山・温泉・宴会のルーティーン(笑)。登山で汗をかいた後の温泉と皆での美味しく楽しい食事で贅沢な山行でした。ほとんど運転して下さった K さん、ご一緒頂いた皆様、本当に有難うございました。

(和田)

同宿の 3 連泊でゆったりした山行でした。福島は初めてでしたのでまた一つ素晴らしい山々と町を感じることができ、片道 700 ㎞を超える道を走ってくださったお二人をはじめ、同行メンバーに感謝いたします。初日の雨もそれなりに楽しく、終わり良ければすべてよしのことわざ通り、一番行きたかった安達太良山と吾妻小富士は快晴で満喫させていただきました。

(蒲田)

震えながら乗った西吾妻山のリフト、霧と小雨の中歩いた磐梯山、強風と爆裂火口の安達太良山、抜けるような青空の下の吾妻小富士。どれもが贅沢で素敵なお山行で、あつという間の 3 泊 4 日でした。遠いところまで連れて行っていただき本当にありがとうございました。

(宮内)

3 泊 4 日の山行に参加し登山に温泉と身体も癒されて楽しい山行だった。最終日の吾妻小富士は自然の凄さと美しさに感動した。登山を経験して 1 年「登山が少し好きになった」気がする山行だった。山に仲間に感謝します。

(大西)

福島の山行 次々と変わる天気の中、強風でリフトが止まり暫く雨にさらされてやっ和下山、宿泊さきでの温泉は至福の心地良さとなりました。少しだけ色ずき始めた木々の間を自分の足で歩くことができ、山の魅力を満喫した山行でした。

同行者の皆さんありがとうございました。

(木田)

27 年前の磐梯山、5 年前の秘湯巡りの周遊に引き続き、ゆったりと落ち着いた裏磐梯を楽しむことができた。これまでの単独行動と違い、山仲間と一緒に安達太良山牛ノ背で途切れること無い凄風の中から見た磐梯山と湖沼、快晴の吾妻小富士山頂でゆっくりしたコーヒータイム、田部井淳子さんが愛した極上の湯を楽しめたこと。皆さんと共に豊かな至福の時を共有できたことが何よりも良かった。ありがとうございました。

<1日目 (9/30) : 西吾妻山>



紅葉にはまだ早く山頂付近でチラホラ

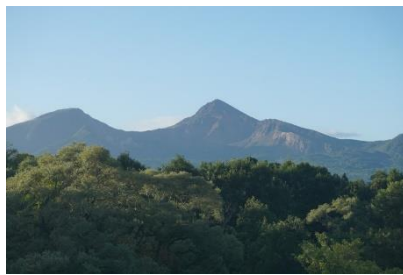
下山後は毎晩🍷&🍺



<2日目 (10/1) : 磐梯山>



猪苗代湖



宿からの磐梯山が一番綺麗に見えた

<3日目 (10/2) : 安達太良山>



台風並みの強風で立ってられない



<4日目 (10/3) : 吾妻小富士>



磐梯山を眺めながらのんびりランチ